

部活動経験をどう意味づけるのか
 一本学陸上競技部 OB・OG を対象として—
 大槻 優希 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)
 指導教員 豊田 則成

キーワード：部活動経験，自分らしさ，やる気

1. 諸言

本研究では「びわこ成蹊スポーツ大学陸上競技部経験をどう意味づけるのか」というリサーチクエスチョン (Research Question: 以下 RQ と称す) を設定し、質的にアプローチを行った。部活動経験の意味についての語りに着目し、発展継承可能で有益な仮説的知見を導き出すことを目的とした。

2. 研究方法

インフォーマント (Informant: 調査対象者: 以下 Inf. と称す) を、びわこ成蹊スポーツ大学の陸上競技部に所属していた卒業生 (1~6 期生) 9 名 (男性 5 名, 女性 4 名) とし、インタビューマニュアルを基に 1 人当たり約 1 時間程度の 1 対 1 の半構造化インタビューを実施した。分析方法については、質的研究法の代表的手法であるグラウンデッド・セオリー・アプローチ (Grounded Theory Approach: 以下 GTA) を用いて行った。

3. 結果と考察

「びわこ成蹊スポーツ大学陸上競技部経験をどう語るのか」という RQ に対し 9 名の Inf. にインタビューを行い、書き起こしたインタビュー内容をコーディングし、1042 個のコードから共通したものを集め、最終的に 5 個のコアカテゴリーを生成し、Fig.1 に「部活動経験を振り返ることでやる気を掻き立てていくサイクル」を示した。

4. まとめ

「びわこ成蹊スポーツ大学陸上競技部での経験をどう意味づけるのか」という RQ に対し、「自分らしさを見失ったとき、自分らしさを模索し、部活動をしていた頃の自分らしさを振り返ることによって、自分らしさに気づき、自分らしさを実感することが出来る」という仮説的知見が導き出された。すなわち、本学陸上競技部 OB・OG は部活動経験を振り返ることによって自分らしさを実感し、『やる気が掻き立てられる』として意味づけていると考えられる。

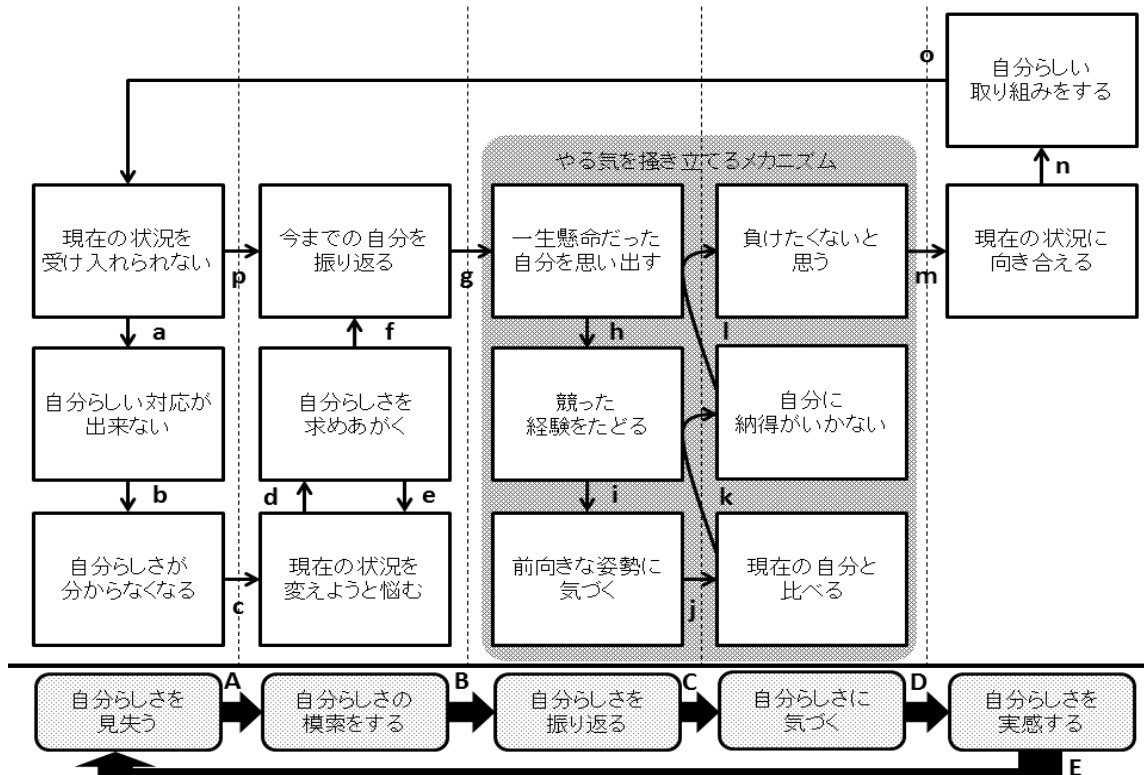


Fig.1: 陸上競技部経験を振り返ることでやる気を掻き立てていくサイクル